

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

○雜款

○懲罰

懲罰言渡書

昭和十七年三月二十七日(金)  
海軍大臣官房

海軍公報 (部内限) 號外

1577

海軍公報 (部内限) 號外

1578

海軍公報 (部内限) 號外

三

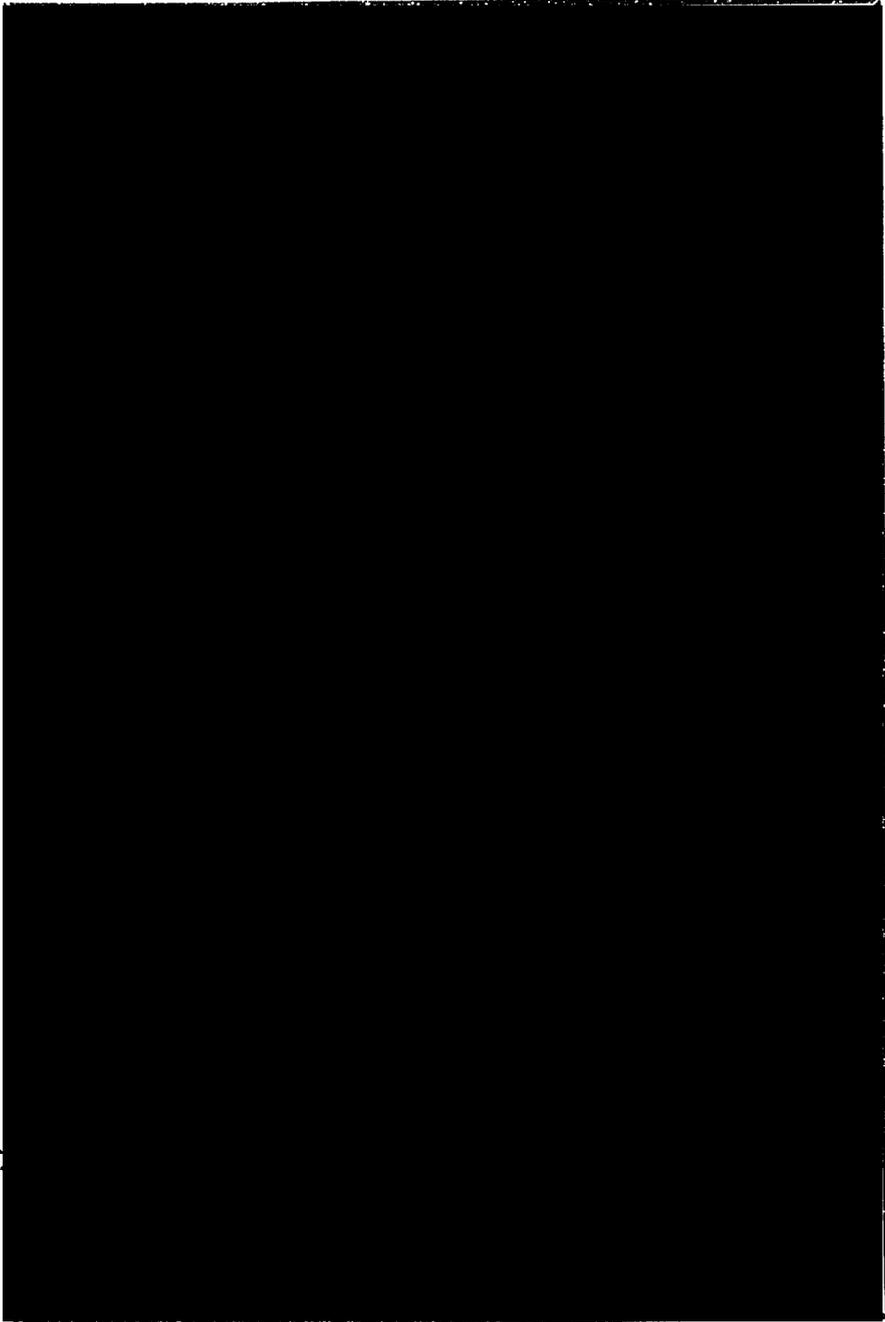
1579

海軍公報 (部内限) 號外

四

1580

海軍公報 (部内限) 號外



五

1581

海軍公報 (部内限) 號外

六

1582

海軍公報 (部内限) 號外

七

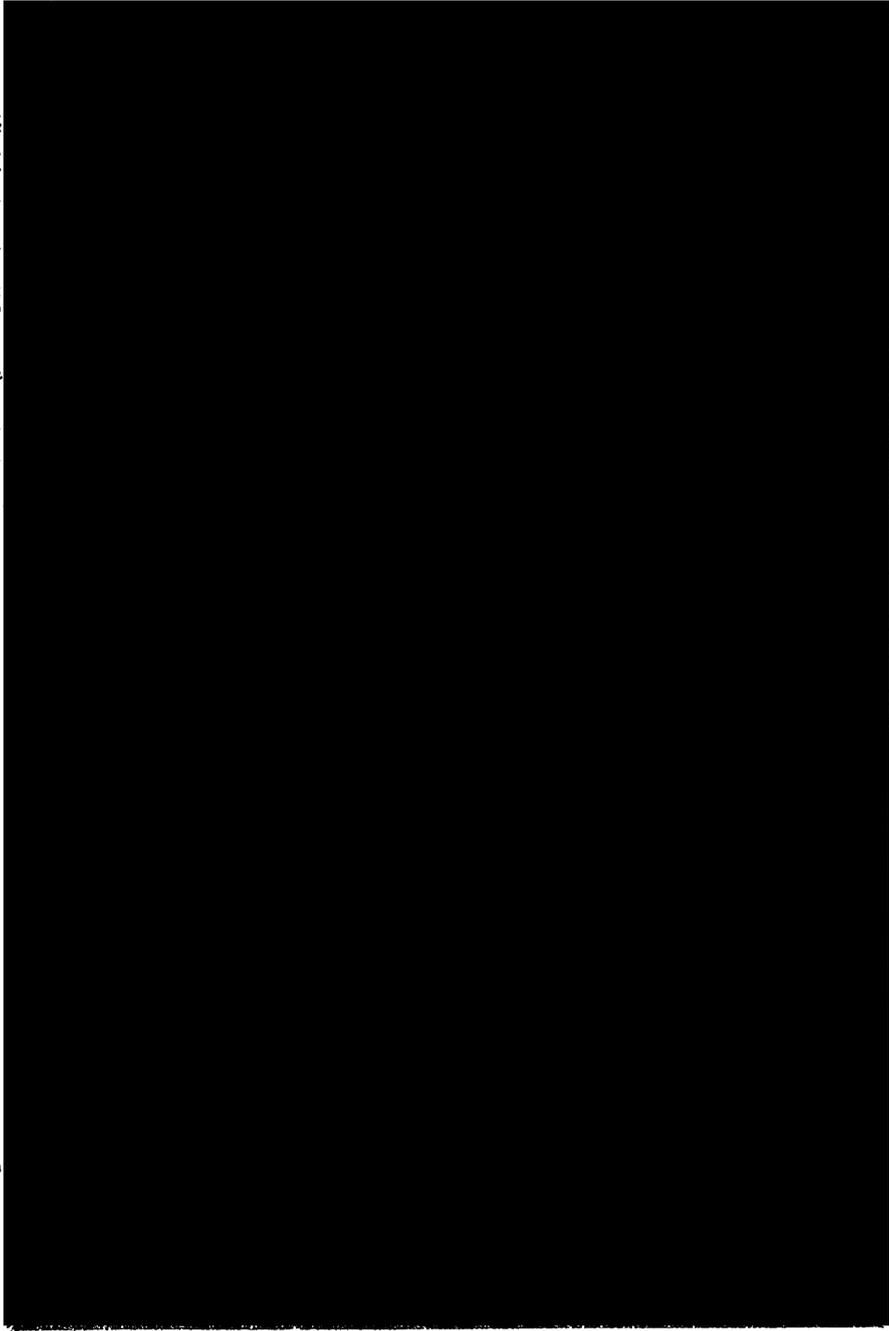
1583

海軍公報 (部内限) 號外

八

1584

海軍公報 (部内限) 號外



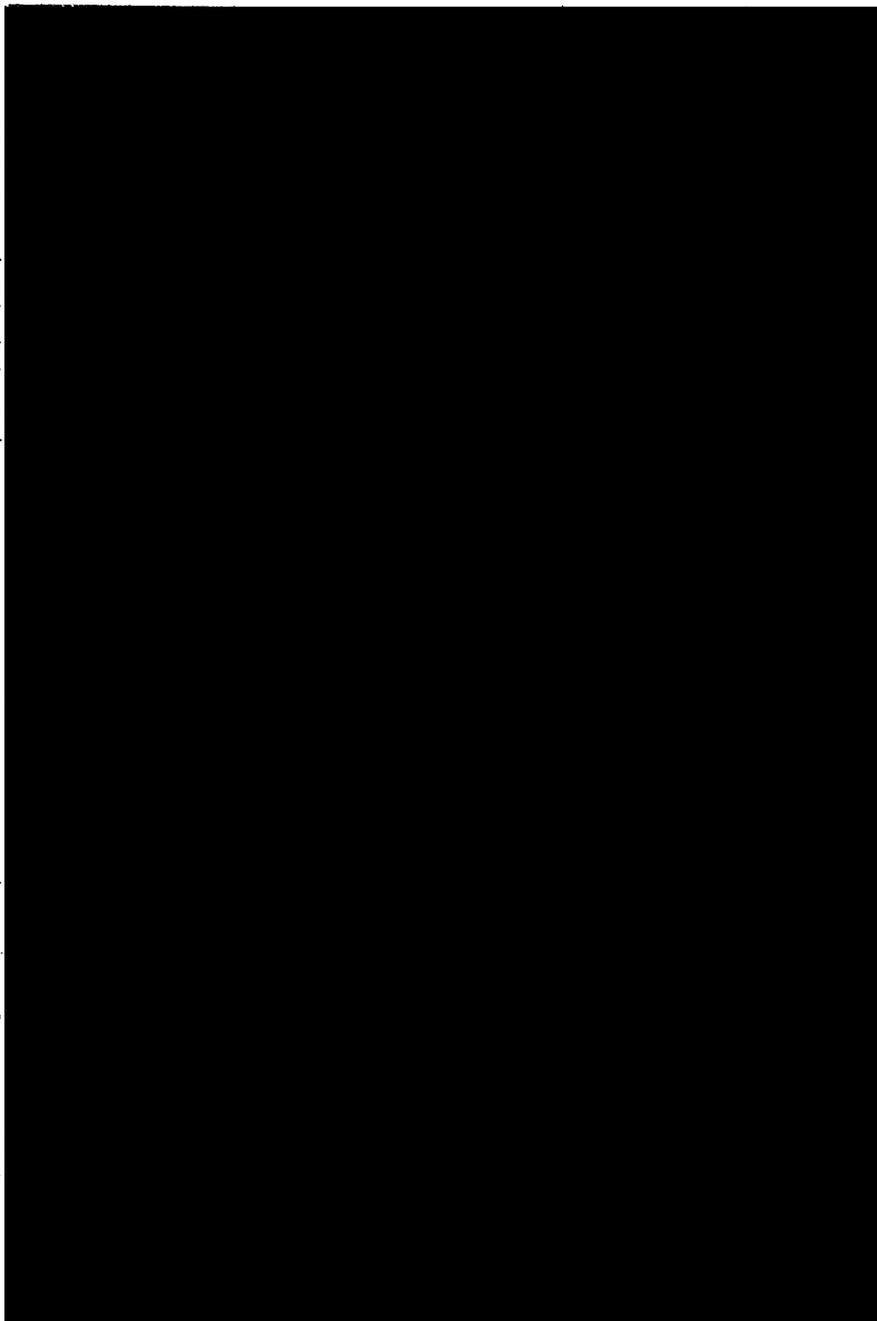
九

1585

海軍公報 (部内限) 號外

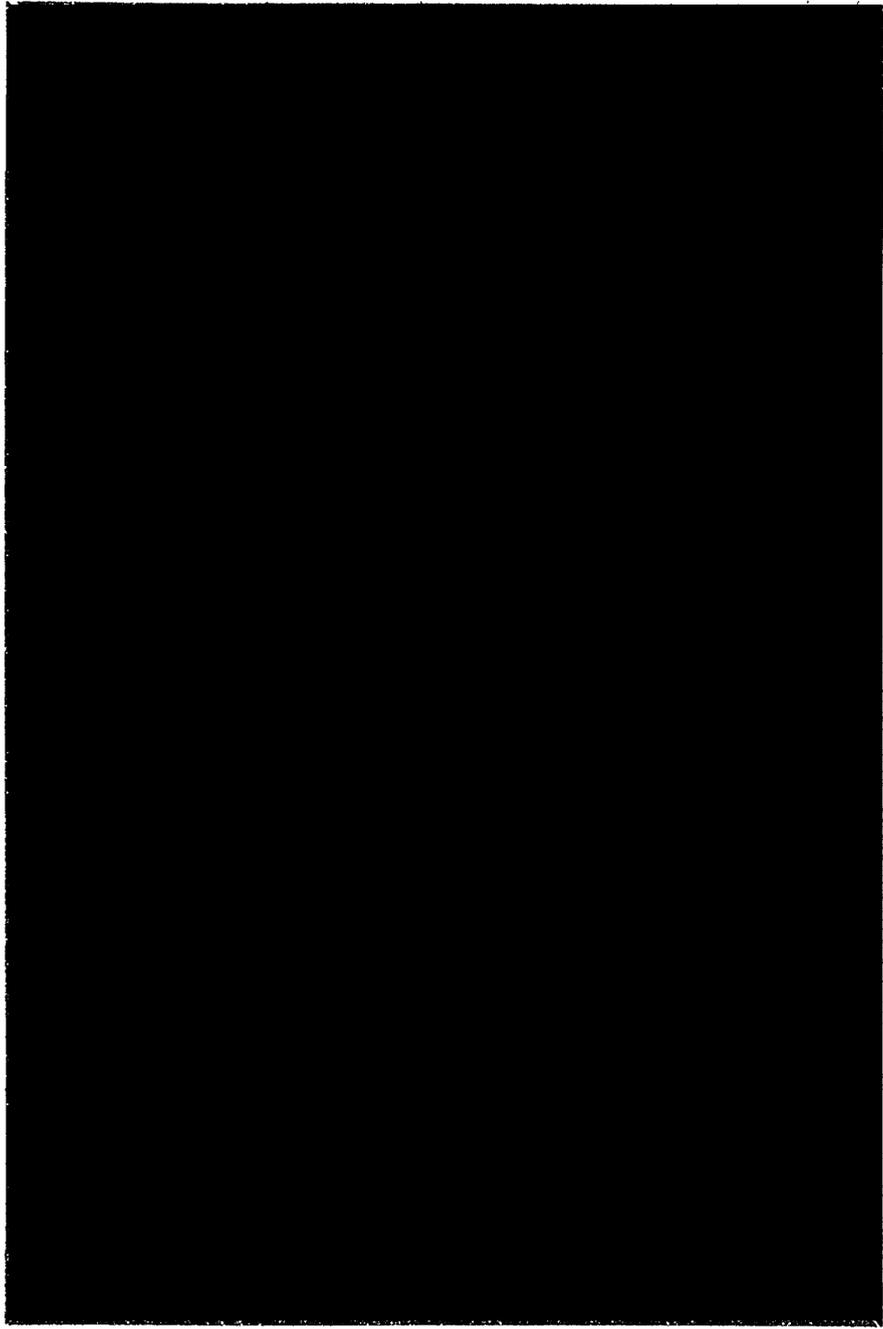
1586

海軍公報 (部内限) 號外



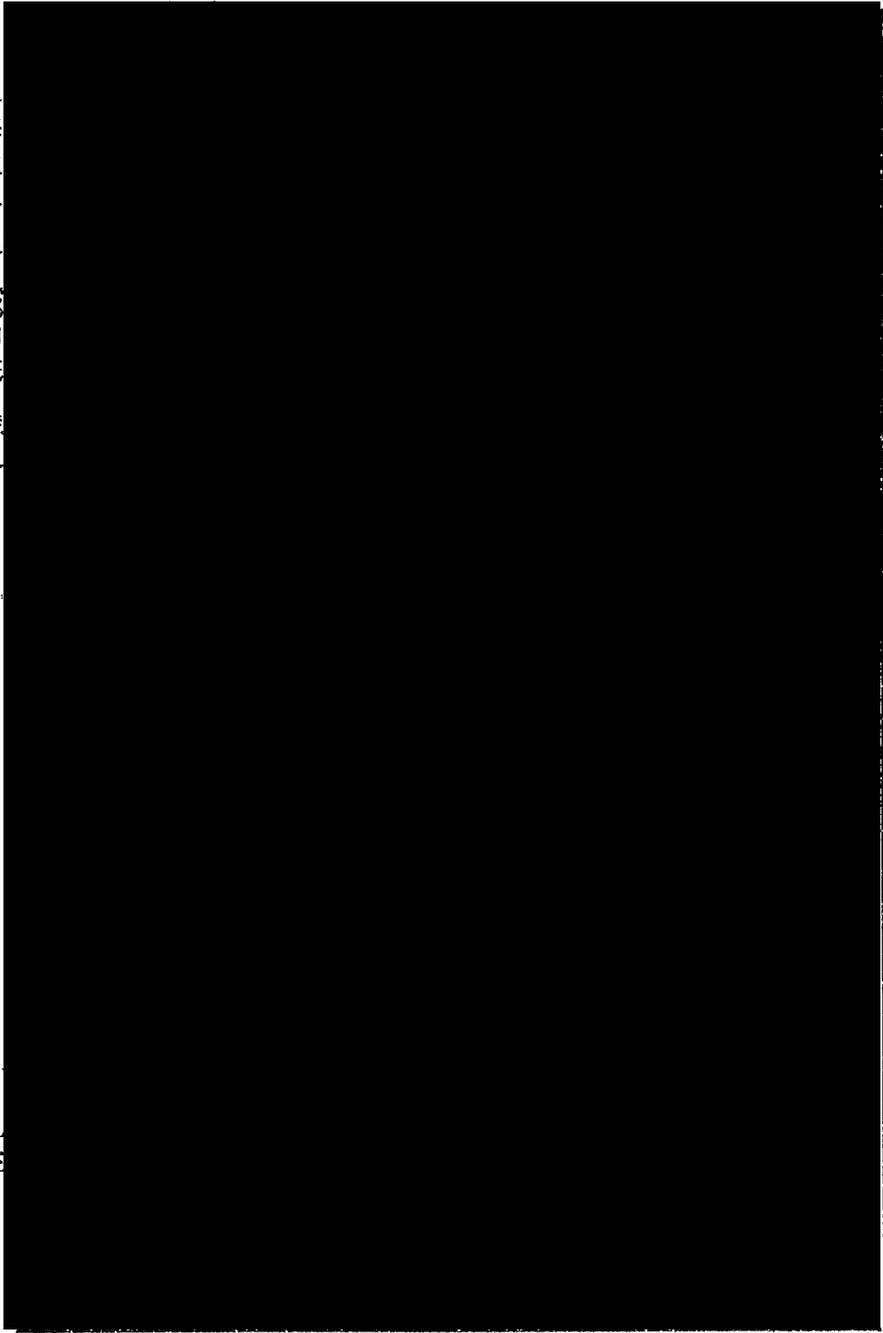
1587

海軍公報 (部内限) 號外



1588

海軍公報  
(部内限)  
號外



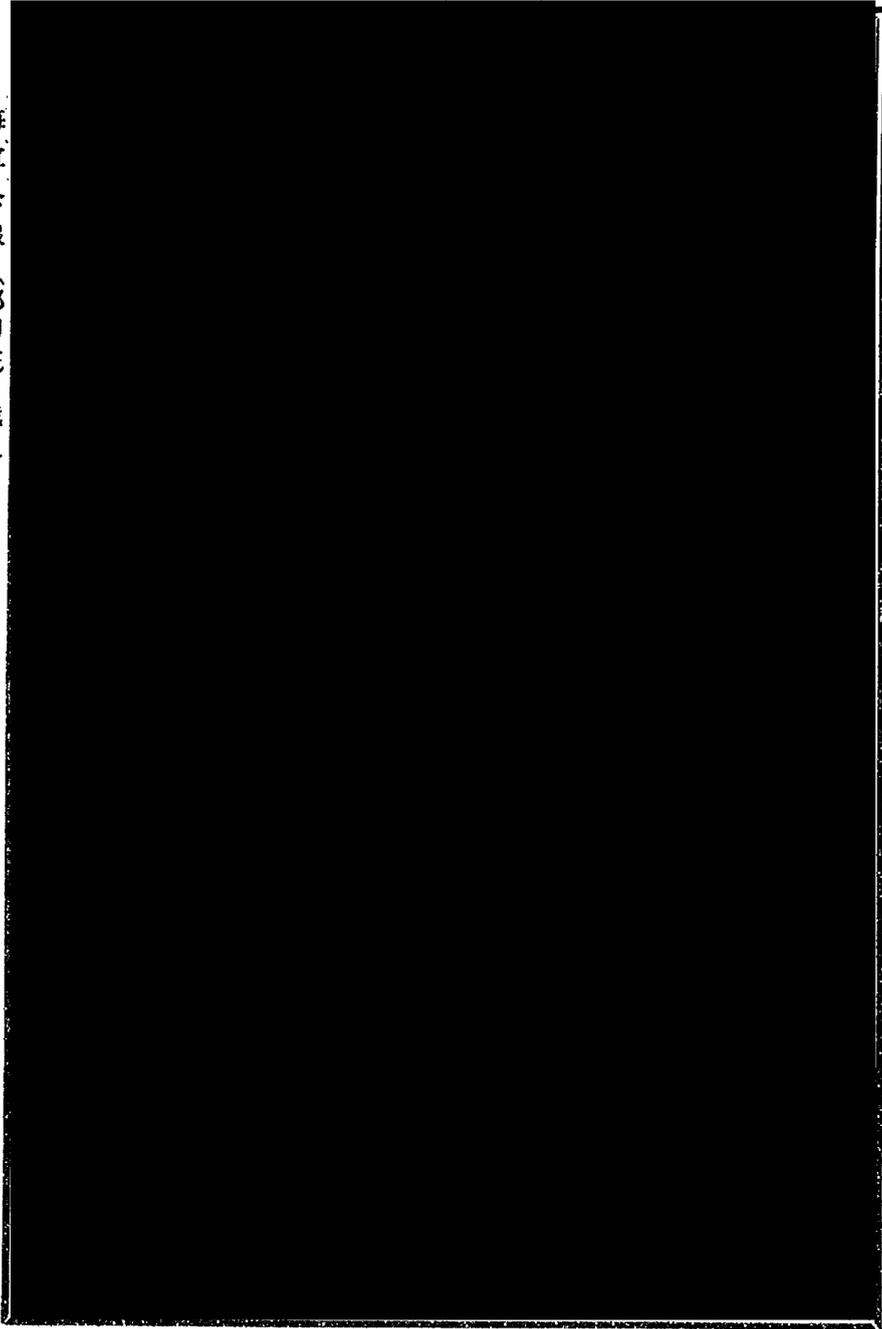
1589

海軍公報 (部内限) 號外

一四

1590

海軍公報 (部内限) 號外



一五

1591

海軍公報 (部内限) 號外

一六

1592

海軍公報 (部内限) 號外

一七

1593

海軍公報 (部内限) 號外

一八

1594

海軍公報 (部内限) 號外

一九

1595

# 海軍公報 (部内限) 第四千五十四號

昭和十七年三月二十八日 (土)  
海軍大臣官房

## ○ 令 達

海軍諸料  
則登載

官房第一七一六號

大東亞戰爭ニ關シ戰地(事變地ヲ含ム)ニ在ル特設海軍建築部、特設海軍軍需部、特設海軍工作部、特設海軍航空廠、特設海軍燃料廠、特設艦船部隊等(特設艦ト稱ス)ノ工員ノ取扱及給與<sup>左ノ通定ム</sup>規則<sup>海軍工員規則</sup>則又ハ海軍工員臨時給與規則ニ依ル  
昭和十七年三月二十七日

海軍大臣

### 一 取 扱

#### (一) 派遣元應

(イ) 工員ハ必要ニ應シ海軍建築部、海軍軍需部、海軍紅廠、海軍航空技術廠、海軍航空廠、海軍燃料廠及海軍港務部(以下派遣元應ト稱ス)ヨリ在籍ノ儘轉備スルモノトス

#### (二)

(ロ) 派遣ノ爲新ニ工員トシテ部外ヨリ徵用セル者ハ特設特別工作部ノ外派遣元應ニ在籍セシメタル上在籍ノ儘轉備スルモノトス  
(ハ) 轉備及復歸ニ關シテハ海軍省兵備局長、海軍省軍需局長、海軍艦政本部長、海軍航空本部長及海軍施設本部長(以下各系長ト稱ス)ヲシテ夫々派遣元應ニ指示セシム

#### (三)

(イ) 派遣元應ヨリ轉備セル工員(以下轉備工員ト稱ス)ハ派遣中特設應所屬工員トシ身分ヲ軍屬トス  
(ロ) 特設應長ハ現地ニ於テ必要ナル工員ヲ備入スルコトヲ得(外國人ハ人夫トス)  
特設應長ハ前項ノ員數ヲ各系長ニ通報スルモノトス  
身上取扱  
(イ) 轉備工員ニ對シテハ工員手帳ヲ除クノ外工員身上關係書類ハ之ヲ派遣元應ニ保管シ特設應ニ

海軍公報(部内限) 第四千五十四號

昭和十七年三月二十八日

三〇五

1596

送付セズ必要ナル書類ハ簡易ナル寫等ノ送付ニ依リ處理スルモノトス

(ロ) 工員手帳ハ轉備ノ際携帶セシムルヲ例トス

(ハ) 特設廳長ハ工員手帳ヲ保管シ級別ノ付與、定期昇級、昭和十三年官房第四一六五號ノ昇級又ハ海軍工員規則第六十七條ノ臨時昇級及賞罰ヲ行フ但シ級別ノ付與ハ派遣元廳長ト協議ノ上實施スルモノトス

(ニ) 解備又ハ徵用解除ヲ要スル事由發生シタルトキハ理由ヲ附シ派遣元廳ニ復歸セシメタル上解備又ハ徵用ヲ解除スルモノトス

(イ) 派遣元廳ハ轉備工員ノ留守家族トノ連絡其ノ他身上ニ關スル必要ナル斡旋ヲ爲ス

(四) 勤務

(イ) 勤務時間ニ關シテハ特設廳長ノ定ムル所ニ依ル

(ロ) 休暇其ノ他傷痍疾病ニ因リ休業スル日ト雖モ之ヲ勤務セルモノト看做ス

(ハ) 休暇ニ關シテハ海軍軍人軍屬休暇規則ヲ準用ス

(ニ) 上陸外出等ニ關シテハ職手以上ハ下士官ニ準

シ一等工員以下ハ兵ニ準ズルノ外特設廳長ノ定ムル所ニ依ル

(五) 服裝

著用區分ニ關シテハ特設廳長ノ定ムル所ニ依ル

(六) 禮式

海軍軍屬禮式ヲ適用ス

(七) 治療及扶助

(イ) 傷痍又ハ疾病ニ對スル治療ハ官ニ於テ之ヲ爲スモノトス

(ロ) 公務ニ依リ傷痍若ハ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ傭人扶助令ヲ適用シ扶助金ヲ支給ス

前項ノ扶助金算出ノ基礎タル貸金ハ貸錢及増給(貸錢ノ二十割トス)ノ合計額トス

(ハ) 扶助金ハ特設廳ニ於テ必要ナル書類ヲ作成シ派遣元廳ニ送付シ派遣元廳ヨリ所管鎮守府ニ請求スルモノトス

(八) 共濟組合

轉備工員(派遣ノ爲新ニ部外ヨリ徵用セル者ヲ除ク)ノ共濟組合關係ハ之ヲ派遣元廳ニ於ケル工員ト看做シ其ノ事務ハ派遣元廳ニ於テ左ノ通處理スルモノトス但シ情況ニ依リ派遣元廳ト協議シ特設

應ニ於テ處理スルコトヲ得

(イ) 共濟部

(1) 諸給付ハ派遣中死亡ノ場合ヲ除キ派遣元應ニ復歸後ニ之ヲ行フ

(2) 派遣中發生セル給付事故ニ對シテハ脱退給付及遺族給付(公傷病遺族一時金ヲ除ク)ヲ行ヒ傷病給付(特症一時金ヲ除ク)ハ行ハズ

(3) 轉備後復歸迄掛金ヲ徵收セズ

(4) 特設應勤務期間ハ加入期間ト看做ス

(イ) 健康保險部

給付及掛金ノ徵收ヲ行ハズ但シ世帯員給付ハ派遣元應長ノ認定ニ依リ之ヲ行フコトヲ得

二 給 與

(一) 支給區分

(イ) 派遣元應ニ於テ支給スルモノ

(1) 定期賞與、派遣手當、臨時家族手當

(2) 賃錢ト増給トヲ合計シタル金額ノ内賃錢五

十分分ニ相當スル金額但シ情況ニ依リ特設應ト協議シ之ヲ變更スルコトヲ得

(イ) 特設應ニ於テ支給スルモノ

(イ) 以外ノ諸給與

(ハ) 派遣元應ニ於テ支給スル給與ハ昭和十六年官房第五四四號ノ規定ニ拘ハラズ派遣元應ニ於テ家族渡ヲ行フコトヲ得但シ受取ルベキ家族ナキ者ニ對シテハ派遣元應ニ於テ給與擔任官之ヲ受領ノ上郵便貯金又ハ確實ナル銀行ニ預入レ保管スルモノトス

(二) 定期昇級

特設應長ハ昇級資格者ニ對シ五月及十一月ノ各二

十一日附二級以內昇級セシムルコトヲ得

前項ニ依リ昇級ヲ行ヒタルトキハ特設應長ハ速ニ派遣元應長ニ通知スルモノトス

(三) 乘艦加給

特設艦船乗組ノ工員ニハ昭和十四年官房第五一〇七號中乘艦加給表ヲ準用シ乘艦加給ヲ支給ス

(四) 被服物品

(イ) 特設工作艦乗組ノ工員ニハ昭和十四年官房第五一〇七號中乘艦加給表ヲ準用シ被服物品(通常物品)ヲ貸與スルコトヲ得

(ロ) 特設工作艦以外ノ特設艦乗組ノ工員ニハ昭和十七年官房機密第四號ノ二ノ規定ニ依リ被服物品(兵備品)ヲ貸與スルコトヲ得

(ハ) 前各項以外ノ特設應所屬工員ニハ海軍工員臨時給與規則ニ依リ被服物品(通常物品)ヲ貸與スルコトヲ得

三 通

特設廳長ノ海軍工員規則第七條ノ規定ニ準ジ左ノ書類ヲ送付スルモノトス

書類名	時期	先通報	寫送付先
工員數増減報告	毎三ヶ月	兵備局長	兵備局長
工員負傷疾病報告	毎三ヶ月	兵備局長及醫務局長	兵備局長及醫務局長
工員死傷報告	毎月	艦政本部長(共濟組合)及派遣元廳長	艦政本部長(共濟組合)及派遣元廳長
工員貸錢及増給支給報告	毎月	經理局長及派遣元廳長	經理局長及派遣元廳長
工員表彰通報	毎三ヶ月	兵備局長及派遣元廳長	兵備局長及派遣元廳長
工員懲戒通報	毎三ヶ月	兵備局長	兵備局長

附則

一 左ノ官房號中工員ノ取扱及給與ニ關スル規定ハ之ヲ廢止ス  
昭和十二年官房第四四〇八號(事變中工作艦ニ於ケ

ル工員ノ取扱並ニ工事費ノ整理ニ關スル件)  
昭和十四年官房第六一五二號(特設海軍航空廠ニ於ケル工員ノ取扱及給與並ニ施行工事ニ要スル通常物品及工事費ノ整理ニ關スル件)  
昭和十五年官房第六三三一號(特設海軍工作部ニ於ケル工員ノ取扱及給與並ニ施行工事ニ要スル契約、通常物品及工事費ノ整理ニ關スル件)  
昭和十六年官房第一七一號(特設工作艦松榮丸ニ於ケル工員ノ取扱並ニ通常物品及工事費ノ整理ニ關スル件)  
昭和十六年官房第三二八六號(在支特設海軍建築部ニ於ケル工員ノ取扱及給與ニ關スル件)  
昭和十六年官房機密第一〇八五一號ノ二(第三軍需部、第三百燃料廠、第三百航空廠、特設設營班及特設防衛班所屬從業員ノ取扱ノ件)  
昭和十六年官房第五二九二號(聯合艦隊所屬中特設工作艦山彦丸ニ於ケル工員ノ取扱並ニ通常物品及工事費整理ニ關スル件)  
昭和十六年官房第六七四三號(特設工作艦浦上丸ニ於ケル工員ノ取扱並ニ通常物品及工事費整理ニ關スル件)

昭和十七年官房機密第四號（特設艦船ニ乗組ノ工具ニ對スル取扱ノ件）

二 左ノ官房號中（ト）給與中（三）、乘艦加給（チ）被服物品ニ關スル規定ヲ除キ之ヲ適用セズ

昭和十四年官房第五一〇七號（特務艦明石ニ於ケル工員ノ取扱ニ關スル件）

三 左ノ官房號中（ニ）給與中（七）臨時手當（八）糧食ニ關スル規定ヲ除キ工員ノ取扱及給與ニ關スル規定ハ之ヲ廢止ス

昭和十七年官房第一〇二〇號（特設特別工作部ニ於ケル工員ノ取扱及給與並ニ施行工事ニ要スル契約、通常物品及工事費ノ整理等ニ關スル件）

○ 通 牒

兵備勞機密第二九五號

昭和十七年三月二十七日

海軍省 兵備局  
海軍省 經理局

關係各廳御中  
特設廳所屬工員ノ取扱及給與ニ關スル件  
通牒

今般官房第一七一六號ヲ以テ首題ニ關シ令達相成將來ノ取扱ヲ一定セラレ候處之ガ適用範圍等ニ關シテハ左ノ通御了知相成度

記

一、適用範圍

一時派遣ノ工員ヲ除キ左ノ通適用セラル

イ 戰地ニ在ル陸上特設各廳及特設部隊所屬ノ工員

ロ 戰地ニ派遣セラルル特設工作艦其ノ他特設艦船

乗組ノ工員

ハ 戰時編成ノ特務艦明石、工作艦乗組ノ工員

尙特務艦明石ハ附則ノ通乘艦加給及被服物品ニ關ス

ル規定ヲ、特設特別工作部ハ臨時手當及糧食ニ關ス

ル規定ヲ其ノ特殊性ニ鑑ミ存置セラレ共ノ他ハ本令

ノ適用ヲ受ケルコトナレリ

二、身分關係

特設廳長ハ現地ニ於テ敵性ナキ外國人等ノ勞務者ヲ

傭入シ可成現地處理ノ方針ヲ示サレタル次第ナルガ

之ガ傭入後ノ身分ニ關シテハ指導的地位ニ立ツベキ

内地工作廳等ヨリ轉傭ノ工員ノ身分ニ鑑ミ外國人ハ

人夫トシテ取扱フコトトセラレタリ

三、扶助關係

海軍公報（部内限）第四千五十四號 昭和十七年三月二十八日

三〇九

○ 雜 款

○司令潜水艦變更  
第八潜水隊司令ハ二月十二日司令潜水艦ヲ伊號第四潜水艦ニ變更セリ

○郵便物發送先  
自今左ニ依リ發送相成度

隊、司令宛

第二號掃海艇

隊機關長宛

第四號掃海艇

軍醫長宛

第三號掃海艇

主計長宛

第一號掃海艇

追テ第五號掃海艇ハ當分ノ間分離行動ニ付當隊宛書類ニシテ同艇ニ關係アルモノハ同艇宛直送相成度  
(第一掃海隊)

○書類發送先

當隊主計科關係書類ハ朝潮ニ送付相成度  
(第八驅逐隊)

○正誤  
本月十一日辭令欄中海軍機關大佐三善 孝辭令月日

「二月十五日」ハ「二月二十五日」ノ誤

四 給與關係

派遣元應ニ於テ支給スル給與ノ家族渡ヲ規定セラレタル趣旨ハ派遣中ナルベク現地ニ於ケル所持額ヲ必要ノ限度ニ止メシメ且留守家族ニ對シ毎月一定ノ生活費ヲ交付シ得ル如クセラレタルモノニシテ委任受領ガ從來兎角ノ過誤ヲ生ジタル事例ニ鑑ミ派遣元應ニ於テモ出發前家族渡請求書ヲ提出セシメ置キ正規ノ家族渡ヲ爲シ得ルコトトセラレタルモノナリ

# 海軍公報(部内限)第四千五十五號

昭和十七年三月三十日(月)

## 海軍大臣官房

### ○令達

官房機密第三七七七號

大東亞戰爭ニ際シ對敵行動ヲ取ル爲航海スル艦船ノ乗員ニ給スル海軍給與令第五表各欄ノ航海加俸ハ在外海軍部隊艦船臨時給與令及海軍戰時特例給與規則ノ規定ニ依ルノ外左ノ區分ニ依リ之ヲ支給ス

昭和十七年三月三十日

海軍大臣

- 一 艦船東經百五十度以西、北緯四十四度以南、同二十度以北ノ本邦海域(以下第一海域ト稱ス)ヨリ同緯度内ノ滿洲沿岸、支那沿岸、亞細亞露領沿岸又ハ東經百六十度以西、北緯四十四度以北、同二十六度以南ノ海域(以下第二海域ト稱ス)ニ航海スルトキ及之ト反對ノ場合ニハ發航ノ日ヨリ其ノ目的地點ニ到達ノ日迄第三欄ノ額
- 二 艦船第一又ハ第二海域ヨリ東經百六十度以東、北

緯二十度以南、同五十度以北ノ海域(以下第三海域ト稱ス)又ハ北緯二十度以北ノ佛領印度支那沿岸ニ航海スルトキ及之ト反對ノ場合ニハ發航ノ日ヨリ其ノ目的地點ニ到達ノ日迄第四欄ノ額

三 艦船東經七十度以西、西經百五十度以東、南緯三十度以南ノ海域(以下第四海域ト稱ス)ニ航海スルトキハ發航ノ日ヨリ同緯度ニ達シタル日ノ前日迄第四欄、其ノ當日ヨリ第五欄ノ額、之ト反對ノ場合ニハ同緯度ヲ離レタル日迄第五欄、其ノ目的地點ニ到達ノ日迄第四欄ノ額

附則

本令ハ昭和十七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

### ○通牒

經豫第三號ノ五九

昭和十七年三月三十日

海軍省經理局長

海軍公報(部内限)第四千五十五號 昭和十七年三月三十日

三一

各支出官殿

經費部局別調書ニ關スル件通牒

海軍會計規程第三十七條別表第二經費部局別調書ハ昭和十七年度以降當分ノ間提出ヲ要セザルコトニ定メラレ候條了知相成度

經給機密第二九號

昭和十七年三月三十日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

航海加俸ニ關スル件通牒

今般官房機密第三七七七號ニ依リ海軍給與令第五表各欄ノ航海加俸支給區分ニ關スル特例制定相成候處之ガ適用ニ關シテハ左記ニ依ル義ト承知相成度

記

一 本則ハ海軍給與令及同施行細則ニ對シ特別法ノ關係ニ在ルヲ以テ航海加俸ニ關シ本則ニ規定ナキ事項ニ付テハ當然海軍給與令及同施行細則ノ適用アリ例ヘバ海軍給與令第五表ニ定ムル第一欄、第二欄ノ航海加俸ノ支給區分ニ關シテハ本則ニ規定スル所ナキヲ以テ海軍給與令施行細則第三十條以下ニ依リ處理

セラルベキモノトス

二 本則ニ所謂「對敵行動」中ニハ會敵ノ蓋然性アル艦船ノ行動ハ總テ包含セシメラルル趣旨ニシテ從テ哨戒、補給等ノ爲ニスル艦船ノ航海ニ關シテモ本則ノ適用アルモノトス

三 「發航」トハ艦船沿岸、港灣、流域等ヨリ出航スル場合ノミナラズ洋上ノ一地點ヲ發進スル場合ヲモ含ムモノトス

四 「目的地點ニ到達」トハ艦船其ノ目的トスル沿岸、港灣、流域等ニ到着スル場合ノミナラズ洋上ノ目的地點ニ到着スル場合ヲモ含ムモノトス

五 艦船航海中ニ別個ノ命令ニ依リ新ナル行動ニ移リタルトキハ其ノ行動ニ移ル爲ニ發進セル時及地點ニ於テ前航海ノ目的地點ニ到達シ更ニ新航海ノ目的地點ニ向ヒ發航セルモノト看做ス

○ 辭 令

海軍武功調査委員ヲ命ス 海軍中佐 永井 太郎  
支那事變從軍記章授與調査委員ヲ命ス(海軍省)

○ 雜 款

○ 郵便物發送先  
自今左ニ依リ發送相成度

横須賀郵便局氣付 ヲ五〇 ヲ壹貳壹  
(第十設營班)

佐世保郵便局氣付 イ壹九 イ壹七  
(第十特別根據地隊)

○ 書類再送

當隊(司令部、父島海軍航空隊、第七防備隊、第十砲艦隊(吉田丸)、第十七掃海隊(慶南丸)、第十一鸚丸、第五利丸、第八利丸)第六十六驅潜隊(文丸、第二關丸、興義丸)宛ノ郵便物ニシテ自二月二十日至三月十四日間ニ於テ發送ノモノハ事故ノ爲不到達ニ付再送ノコトニ取計相成度  
(第七根據地隊)

○ 事務所設置

驅逐艦秋月艦裝員事務所ヲ三月二十二日舞鶴海軍工廠内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

○ 殘務整理

第四掃海隊殘務整理ハ舞鶴海兵團ニ於テ行フ

南支海軍特務部殘務整理ハ在香港南支海軍特務部殘務整理員事務所、同給與事務ハ第一海軍經理部香港支部ニ於テ孰モ之ヲ行フ  
追テ郵便物發送先ハ臺北在勤海軍武官府氣付

○ 事務所撤去

瑞興丸殘務整理員事務所ハ二月二十八日撤去セリ  
敷設艇鹿島艦裝員事務所ヲ三月二十五日撤去セリ

海軍公報(部内限) 第四千五十五號 昭和十七年三月三十日

三一三

1604

(限 内 部)

# 海軍公報 (部内限) 第四千五十六號

昭和十七年三月三十一日 (火)  
海軍大臣官房

## ○通牒

軍務三機密第三一號

昭和十七年三月三十一日

海軍省軍務局長

關係各廳長殿

機關呼稱ニ關スル件申進

昭和十六年内令第一二九七號主及巡航タービン並ニ減速装置ノ呼稱、同年内令第一二九八號水管式主罐ノ呼稱、同年内令第一二九九號水管式補助罐及水管式雜役船用罐ノ呼稱、昭和十七年内令第二四號蒸氣ピストン主機械ノ呼稱及同年内令第四七號補助機械(造機關係)ノ呼稱ハ今後製造スルモノニ附與セラルル義ニ有之候條了知相成度

海人第一號ノ五〇

昭和十七年三月三十一日

海軍省人事局

海軍公報 (部内限) 第四千五十六號

昭和十七年三月三十一日

三一五

關係各廳御中

戰時事變關係人事取扱例規頒布ノ件通知  
首題ノ件執務參考トシテ別冊ノ通頒布致候  
(別冊ハ後送ス)

契庶機密第二三五號

昭和十七年三月六日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

統制契約ニ關スル件通牒

首題ノ件別表ノ通契約締結致候條該當品ハ本契約ニヨリ處理相成度  
追テ契約書ハ所要ノ向ニ別途配付ス  
(別表添)

## ○辭令

軍令部部員海軍少佐 稻見 高男  
第三部第八課勤務ヲ命ス(三三軍令部)

參謀部第三部第八課勤務ヲ命ス(三十五) 大木營海軍部)

第一課勤務ヲ命ス 海軍主計中佐 松尾 佐一

第五課勤務ヲ命ス(以上三十五) 海軍省經理局) 同 吉岡 清作

鳴門丸ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス(三十五) 支出官 海軍省經理局長)

第一臨時設營班ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス(三十五) 同)

海軍主計兵曹長 鮫島 宗則  
驅逐艦有明及夕暮ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命シ置キタルトコロ之ヲ免ス(三十一) 同)

○ 雜 款

○郵便物發送先  
自今左ニ依リ發送相成度

佐世保郵便局經由

第四十一海軍軍用郵便所氣付

海軍軍法會議

(第一南遣艦隊軍法會議)

橫須賀郵便局氣付

ウ九壹 ウ五貳  
(第二十四航空戰隊司令部)

佐世保郵便局經由

第四十一海軍軍用郵便所氣付 (軍事郵便)

(日 榮 丸)

司令、隊機關長宛

伊一二三潜水艦  
(第十三潜水隊)

軍醫長宛

夕暮

有明  
(第二十七驅逐隊)

驅逐艦山雲ハ目下分離行動中ニ付隊司令宛書類ニテ關係アルモノハ寫ヲ同艦ニ直送相成度  
(第九驅逐隊)

○書類再送

一月十日以降二月下旬迄ニ於ケル名取(第五水雷戰隊)司令部名取第二十二驅逐隊第五驅逐隊宛郵便物ハ事故ノ爲不達ト認メララルニ付該當ノモノアル向ハ再送相

成度

(名取司令部)

○事務所撤去  
驅逐艦風雲艦裝員事務所ヲ三月三十八日撤去セリ

○着任、退廳

新任 海軍經理學校長

海軍主計少將 片岡覺太郎 三月二十七日着任

前任

同 海軍主計中將 本田増藏 同日退廳

○正誤

本月二十四日通牒欄兵備二機密第二五三號中「鍛鋼品」ハ「鍛鋼品」ノ誤

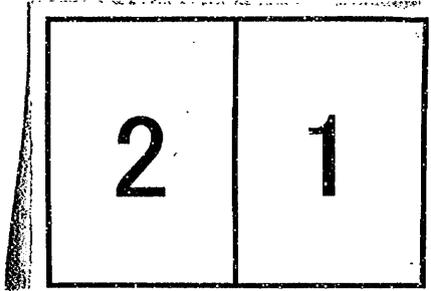
海軍公報(部内限)第四千五十六號

昭和十七年三月三十一日

三一七

1607

## 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3版以上のため
文書等名	統制契約締結一覧表
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	





(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十七年三月三十一日(火)  
海軍大臣官房

官房第一二二三號ノ三

雜役船ノ所屬ヲ左ノ通變更ス

昭和十七年三月二十八日

海軍大臣

公稱番號	船種	舊所屬	新所屬	定數別	記	事
第一四二六號	内火艇 (十五米)	第十一海軍航空廠	大津海軍航空隊 (假稱)	定數補充		
第一四三〇號	同 (同)	香取海軍航空隊 (假稱)	第十一海軍航空廠	同		
第一四三二號	同 (十二米)	同	三重海軍航空隊 (假稱)	同		
第一一九二號	内火ランチ (同)	同	同	同		
第四四八五號	内火傳馬船 (十米)	同	同	同		
第一一九四號	カッタ (九米)	同	同	同		
第一一九五號	同 (同)	同	同	同		
第四八〇五號	傳馬船 (八米)	同	同	同		

海軍公報 (部内限) 號外

第四九一八號	橋 (長十二米市四米) 船	同	同	同	同
第四六一號	交通船兼曳船 (二十噸)	横須賀海軍航空隊	北浦海軍航空隊 (假稱)	同	同
第七〇七號	同 (内火式) (同)	土浦海軍航空隊	同	同	同
第二八二二號	内火傳馬船 (十米)	同	同	同	同
第二二二七號	カッタ (九米)	同	同	同	同
第二二二八號	同 (同)	同	同	同	同
第二六八九號	起 (重機船 擧揚力十五噸)	横須賀海軍航空隊	横須賀海軍建築部	臨時附屬	

1611